

人類99%を支配する寡頭権力者たちの次なる工作

「人工世紀末劇の洗脳。パフォーマンス！」

これこそが北朝鮮問題のすべてだ！」

日本

ところ

の未来は  
決まってきた！

ベンジヤミン・フルフォード×板垣英憲



ヒカルランド

「トランプ大統領は今回の来日でなんと

1京円もの巨額マネーを受け取っていた」

その決定をひっくり返す【超逆転の極秘シナリオ】とは？

ブッシュとロックフェラーが

ジョン・F・ケネディの暗殺に加担したということをも

マスコミが公開すれば

それを突破口に、

どんどんほかの情報も

公開されるかもしれません。

情報公開によって世界的な革命が起きるのは

時間の問題です！



陰謀らしい陰謀が最初に計画されたのは、

「希望の党」という党名を

登録した2017年2月ごろです。

その後、計画は少しずつ固まっていきました。

希望の党と自民党は選挙によって

連立をもくろんでいたのです！



グーグルやフェイスブックなどの  
大手ハイテク企業に、

今後メスが入る可能性も高いです。

国有化、解体という話も十分にありえます。



トランプさんが

2017年11月に来る目的は

1つしかない。

小沢さんが分配するおカネ、

1京円をもらいに来るのです。



ハザールマフィアは

北朝鮮に核技術を移転して、

いまだに何とか人工世紀末劇を

起こそうとしています。

北朝鮮からミサイルが飛んでくることはありません。

あったとしても、ハザールマフィアがやって

北朝鮮のせいにするパターンです。

今もそうやって恐怖をあおっているけど、

うまくいっていない。



『陰謀、裏切り、策略が渦巻いた2017年解散総選挙。

だまし、だまされの劇が繰り広げられている

日本政界の裏側を暴露します！』板垣英憲

14 希望の党から絶望の党へ／特許庁に申請してあった党名「希望の党」

17 小池百合子と前原誠司にはしごを外された小沢一郎

20 民進党の代表選挙は政治資金の管理者を決めるためだった!?

22 小沢一郎のポストを取り上げた小池百合子

24 自民党との連立政権をもくろんだ希望の党の出来レースだった？

28 立憲民主党をつくらせたのは小沢一郎だった！

32 革マルのマイクロバス襲撃事件と中核派書記長の殺害事件／未解決事件の闇

35 野党が一丸となれば自民党に勝っていた！

39 強力な支援者たちにバックアップされている立憲民主党／あと一息のところまで敗北した

42 がんを重粒子線で治して、解散に打って出た安倍首相

47 創価学会婦人部の「アンチ安倍」で困惑する公明党

51 自民党・希望の党の連立政権で憲法改正!?

54 バランスの破壊者、安倍晋三

58 「安倍おろし」が開幕した／再燃化する親安倍と反安倍の対立

61 いよいよ小沢政権の誕生が迫っている

『人工世紀末劇の演出はもう終わり！』

まもなく日本が変わります』ベンジャミン・フルフォード

68 カネを金や財宝にかえて逃げ始めたハザールマフィア

71 すでに倒産状態の株式会社アメリカ

75 ハリケーン被害者のための募金がパパ・ブッシュに渡った

77 空っぽになったアメリカの金／借金札（米国債）でのツケはお断り

85 アメリカのウラン利権をロシアに売って裏ガネを手にしたクリントン

88 米連銀を支配する「家族」がケネディを暗殺した／

ケネディ暗殺に関する情報公開はどこまで行われるのか？

92 アメリカの国家権力のベースとなってきた石油本位制ドルの落日

94 ISは天然ガス利権のための傭兵／誰も死なないマスコミのためのテロが演出されていた

99 3・11は日本の独立を阻止するために仕組まれた

104 グーグル、フェイスブックが解体される!?

106 あなたの預金残高が突然ゼロになるかもしれない!?

109 世界金融システムは再起動するのか?

110 板挟み状態のトランプ大統領、戦争を起こすことに必死の安倍政権

114 北朝鮮危機は世紀末劇の演出の一環である

117 限りなく内戦状態に近いアメリカ／ついにハリウッドにもメスが入った!

120 質疑応答

人類99%を支配した、寡頭権力者たちの次なる工作とは？

日本の行方はこう決まった！ 板垣英憲 VS ベンジャミン・フルフォード

にせものキッシンジャーが世界をよくする!?

ロシアを守る6人のプーチンマン／天皇陛下とプーチンの約束とは？

まだまだ謎の多い金正男暗殺事件／すり替わりが行われていた？

女装した男性エリザベス1世のもとで繁栄した英国

オサマ・ビンラディンの殺害は世論づくりのためだった

AIの発展で世界は良くなる？ それとも悪くなる？

タブーとされている長寿のための技術公開／私たちの長生きを望まない人々がいる

ロボットと人間の境界線がなくなっていく!?

戦争を起こしたいハザールマフィアと厭戦のアメリカ軍／第3次世界大戦は本当に起きるのか？

北朝鮮問題はすべてパフォーマンス／世紀末劇の洗脳を解け！

イラク戦争ではホログラム技術が使われていた／ブルービーム・プロジェクトで世直しを！

トランプ来日の目的は1京円の受け取り？

〴〵アンダーコントロール〴〵できていない福島の問題

本書は2017年10月24日(火)にヒカルランド  
パークで「この選挙で日本の行方はこう決まっ  
た!」として開催された講演の記録に加筆した  
ものです。

装丁 櫻井浩(© Design)

校正 麦秋アートセンター

写真 中谷航太郎

本文仮名書体 文麗仮名(キャップス)

『陰謀、裏切り、  
策略が渦巻いた2017年  
解散総選挙。  
だまし、だまされの劇が  
繰り広げられている  
日本政界の裏側を  
暴露します！』

板垣英憲

希望の党から絶望の党へ／  
特許庁に申請してあった党名「希望の党」

**板垣** こんにちは。あれだけ多数の議席をとりながら、安倍あべさんの顔つきが何か元氣じゃないですよ。きょう、ついさつき真相がわかったので、それは後ほど説明します。

結論からいくと、小池こいけ百合子ゆりこさん、もう希望がなくなっちゃって、絶望の党になったのですが、今リコール運動を始めようという動きがあるのです。大体、都政で全然仕事をしていないでしょう。

オリンピックも、ほんとかどうかわからないのですが、施設をつくる費用が10兆円足りないらしいです。この10兆円は誰が出すのか。それから、東京の上下水道は、東京湾に流れ込む出口のところと一緒になるらしいです。その先で選手が

みんな泳ぐわけですが、突然視界に、黄色っぽいのがワーツとやってきて前が見えなくなる。ふん尿です。それをみんなが飲みながらと言っては語弊があるけれども、大変なことになるとわかったものですから、何カ所がある出口のところをそれなりに改修しなきゃいけない。

それから、豊洲<sup>とよす</sup>。あそこはご存じのようにシアンとかいろいろなもの湧き出ています。それを一回乳酸菌か何かを使った化学薬品で処理したと言われていたけれども、失敗してしまいました。この処理には50億円かかった。それを皆さんがご存じの人が穴埋めしたのです。誰かというのは後で言います。

それやこれやで、放っておいたら、ひよっとしたらオリンピックができないのではないかということになった。2019年の4月いっぱい譲位される天皇陛下が「オリンピックを見たい」ということなんですけどね。昭和天皇は1964年の東京オリンピックを見られました。あのとき開会宣言を昭和天皇がされたのですが、天皇家は「オリンピック」とは言いません。昭和天皇は「オリンピックアード」と言いました。

小池さんは、国政政党的希望の党をつくられました。あの党名自体は2017

年の2月ごろに特許庁に申請してあったらしい。ということ、もうそのころには、つくる計画だったのです。これが非常に重要なポイントでもあります。今回の総選挙のとき、みんな小池さんに「国会にもう一回帰るのか？」と盛んに聞きました。中には「国会に帰れ、帰れ」と言う人もいますし、「都政をもっとしっかりやれ」と言う人もいたけれども、本人は、あの人の性格、癖というか、もう一回衆議院議員に戻りたかったみたいです。

小池さんが最初に選挙に出られたのは参議院議員です。1年やって、その次の年に総選挙があったものだから、参議院をパッとやめちゃって、衆議院議員になられました。それ以降、政治的な面で言うと、いろいろなところを渡り歩きました。細川護熙もりひろさんから始まって小沢一郎さん、さらに二階俊博としひろさんの保守党になって、それから小泉純一郎さん。女性の方がおられるので言いにくいのですが、細川、小沢、小泉の3人はみんな兄弟なんです。3人兄弟。わかりますね、意味。わからない人は後で誰かに聞いてください。

## 小池百合子と前原誠司にはしごを外された小沢一郎

希望の党は、世界支配層の新機軸の実現を担う新党として、東京都議会の地域政党、都民ファーストの会が国会へ進出する形で、小池百合子知事に近い議員、主に若狭勝わかさませつさんを中心に結党されました。若狭勝さん、「わかさまさる」とスツと言くと、何かお猿さんみたいに聞こえますね（笑）。どこで切るかも大事ですね。世田谷（東京6区）のほうでは越智隆雄おちたかおさんが立候補していました。彼は越智通雄みちとおさんの息子です。「おちたかお」も、どこで切るかによって、「おちた」「かお」になっちゃう。今回はめでたく再選されたようです。赤ちゃんに名前をつけるのも難しいですね。よく気をつけないと、子どもはみんなあだ名をつけるのが好きですから、何て言われるかわからない。多分皆さんの中にも中学、高校

であだ名をつけられた人がいると思います。

希望の党の小池百合子代表、民進党のまえはらせいじ前原誠司代表、自由党の小沢一郎代表、連合（日本労働組合総連合会）のこうづりきお神津里季生会長、この4人が9月26日の夜にアメリカ大使館に行ったのです。アメリカ大使館は虎ノ門からちよつと行ったところ、ホテルオークラの隣にあります。あそこに行かれたのです。何とあそこに顔パスで入れるのが前原さん。彼はアメリカのC S I S（戦略国際問題研究所）のメンバーです。それを大使館は知っています。顔がわかりますから身分証を見せる必要はない。その前原さんに3人が連なってアメリカ大使館に行かれたそうです。

そこで何をしたか。アメリカ大使館に行ったメンバーの中には小沢一郎さんも入っています。希望の党から立候補する人に1人当たり2億円、税金を抜いて1億6000万円を配りました。配るにあたっては、どれだけおカネを配ったかをアメリカ大使館で全部整理して、アメリカの財務省に報告しなきゃいけない。そういう手続きを行って、めでたく秘密会合を行ったんです。要は民進党と自由党、両党の解党を前提に、離党議員の希望の党への受け入れについて合意したと我々

は思っていたのですが、これが正確じゃなかった。小池百合子、前原誠司、小沢一郎の3人が行ったのですが、このうちの小池百合子さんと前原さんがもうすでにこのときから小沢さんを裏切っていたのです。おカネをもらうにあたってですよ。ただし、これは党に入るのではなくて、個々の候補者に入るわけです。

その後、小沢さんは、希望の党だけじゃなくて、立憲民主党にも配っています。公明党にも同じことを行っています。二階さんのところには何と200億円。ただし、これは個々の政治家には行きません。こういうことを、「みんな言っちゃいけないよ」と秘密にしていたわけですが、誰が言ったかわからないようにして伝わるものですね。今、自民党の国会議員は全部知っています。これがこれからの重要なところですよ。

大使館に行った2017年9月26日の翌日、27日に、小沢代表は小池百合子代表と会談しました。そこには前原さんとほそのごうし細野豪志元環境大臣が同席していました。そこで小沢さんが会合が始まっていきなり、軍資金という意味で「資金はいくらあるのか？」と小池さんに聞いたのです。同席していた2人はギョツとして引いてしまったようですけれども、選挙をやる以上、おカネが必要だというのは常識

です。軍資金がなきゃ選挙ができませんから、それをはっきりさせておくのは当然で、小沢さんはおそらく「あとのくらい出すか？」という腹づもりで言ったと思います。それを言わないで、いきなり「今いくらあるんだ」と聞くから同席していた2人をギョツとさせてしまった。

## 民進党の代表選挙は政治資金の管理者を決めるためだった!?

党ができたばかりの希望の党はもらえませんが、政党助成金が毎年各党に何回かに分けて配られます。つい最近、何回かに分けて配られるうちの10億円か20億円を民進党はもらっていて、それを足すと大体140億〜150億円になります。これはほとんど使われていません。9月1日の民進党の代表選挙は、誰がその政治資金を管理するかを決めるために行われました。前原さんと枝野<sup>えだの</sup>幸男<sup>ゆきお</sup>さんの争

いだったわけですが、小沢さんは前原さんを当選させるために全国津々浦々を回って、あちこちで一先懸命、民進党の党員、党友の票を集めました。岩手県では党員、党友の約9割の票をかき集めました。後で裏切られるとも知らないで、そうやって前原さんを当選させたのです。

枝野さんは革マルです。私、毎日新聞の駆け出し記者のころは埼玉県警の本部にいたんです。5年間いました。よっぽど事件記者に向いていると思っただのか知らないけれども、県庁を担当させてもらうことはありませんでした。市役所もそう。県警本部に配属されて最初に行ったとき亀井静香かめいしずかが捜査二課長でいました。あの人は、汚職事件を掘り起こす名人で、行った途端にいきなり汚職事件の取材でした。岩槻の市長が捕まっています、その取材から始まって、後に検事総長になる検事から——これは直接聞いたわけじゃなくて盗み聞きしたのですが、そこから特ダネをとりました。各社に抜かれっ放しの毎日新聞の浦和支局がその晩だけ「バンザーイ！」でした。ただ、翌日になると、もうどこかに抜かれていて、みんなガクッとしました。こうやって天国と地獄を行ったり来たりしたわけです。

## 小沢一郎のポストを取り上げた小池百合子

汚職事件に関しては、私は聞いたらすぐわかります。例の森友問題とか、さらに汚職っぽいのは加計孝太郎かけこうたろうさんの獣医学部新設です。あれは明らかに贈収賄事件です。だって、安倍さんはしょっちゅう孝太郎さんとお食事しているし、ゴルフもやっている。これは全部、加計理事長のポケットマネーと言っているし、しょうね。安倍さんのために年間、大体1億円使うそうです。「おしょく」「じ」していただきますから、汚職事件です（笑）。この問題はまだ解決していません。本当ですと、加計学園側から出された新設の申請に対して、文部科学省が認可するかどうかの判断を示す予定だったのに、それが示されていません。東京地検特捜部長の森本宏もりもとひろしさんは相当捜査していますから、捕まえようと思えば、いつでもあの夫

婦を捕まえられます。奥さんもね。あの奥さん、あんな顔をしています。実を言うと、たちが悪いんですよ。

そういうバックグラウンドは、皆さんご存じですから、改めて説明しません。話は戻りますが、小沢さんが「資金はいくらあるか？」と言ったら、前原さんと細野さんが引いてしまった。しかもその後、小沢先生が「ところで、幹事長のポストを私にやらせてくれないか？」とポストを要求したらいいんです。いきなりの率直な質問に驚いているうえに、それに続いて幹事長ポストの要求。そしたら、小沢さんは何と言ったか。

小沢さんは何しろ選挙のプロです。選挙の神様みたいな人なのに、その小沢さんに対して小沢さんは「野党連合と言いますけれども、これに乗るとしても、重要ポストは用意できません」と言った。それこそ顧問もダメだと言うのです。重要ポストを用意できないどころか、何もさせないというつもりです。さらに続けて「幹事長ポストをよこせと大きなことをおっしゃいますが、かき乱さないでください」とまで言った。そうきっぱりと通告したのです。ほんとに頭にくる言葉を使っているわけです。早い話が、それまでずっと連絡をとっていながら、希望

の党に来るなということだ。

都知事選挙のころの「風がないときには、岩の上から飛びおりて自分で風をつくれ」という言葉は、もともとは小沢さんの言葉です。小池さんはそのとおり崖から飛びおりて、風が吹いたものだからフワッと浮かび上がって知事に当選されました。それに続いて、都議会議員選挙でも都民ファーストの会が勝利しました。小池さんは、総選挙で希望の党から大体200人ぐらいを国会議員に当選させようと考えていました。後から見ると、それは「とらぬタヌキの皮算用」だった。小池さんの目はどう見てもタヌキの目をしています。赤いキツネに緑のタヌキ（笑）。

自民党との連立政権をもくろんだ  
希望の党の出来レースだった？

結局、小沢さんは9月27日の会合の場からすぐと帰らざるを得ませんでした。その翌日も一回会合をしようという話になっていたのですが、突然、前原誠司さんから「きょうはキャンセルです」と電話があった。ドタキャンしたわけです。大事な話があるのにびっくりしますね。小池百合子さんも、前原誠司さんも、小沢さんが何回電話をかけても出ない。そういうことはよくします。嫌な感じのやつから電話がかかると、「あ、○○だ」と言っ出て出ない。

それでも、10月2日には、希望の党の候補者全員に1人当たり2億円を出しているのです。税金を2割取っても1億6000万円です。これをくれたら、私なんか選挙に出ないでそのままネコババしますね。そういうやつは結構いるらしいです。小沢さんからカネをもらっているのに票があまりとれない。あまり活発に動くと出費がかさみますから、選挙運動を適当にやっている。そういう連中がいるのです。

小池さんは、総選挙に際して「保守、革新のフェアウエーをターゲットにする」と言いました。自分たちは保守と革新の真ん中を狙うと言う。その言葉にはちよつと新鮮味があったのですが、よく考えると、革新でもない、保守でもない、

どっちでもないということ。「あんたは保守なのか革新なのか、どっちなのか」と聞いて「真ん中です」と言われたら、入れるほうは困ります。

その後、小池さんは松井一郎大阪府知事と手を結んで、日本維新の会と共闘することに決めました。そして、大阪府内では希望の党から候補者を出さないというすみ分けをしました。これは最初からそう言っているわけじゃなくて、周りの新聞記者がうわさとして言っていたのですが、どうも希望の党は、自民党との連立政権にすることを前提にしていたんじゃないか。希望の党が出れば、自民党をはじめ他党でそれぞれ何人が議席が減ります。200人の議席は一種のお土産ですよ。

そのころ小池さんは盛んに安倍さんの悪口を言っていました。安倍さんは最初「希望の党」という名前を聞いて、「いい響きだね」と言っていたのです。ところが、小池さんが安倍さんの悪口を言っているものだから、「悪い響きだね」に変わってしまった。かつて、河野洋平こうのようへいさんがつくった新自由クラブをはじめとして、名前を覚え切れないぐらい新党ができました。安倍さんは「希望の党もそれらの新党と同じように消えてなくなる政党だ」と盛んにおっしゃっていました。後で

気づいたのですが、2人とも相互に芝居をしていたのです。

一方で、希望の党から入党を拒否される民進党メンバーのリストが出回りました。「この人たちは入れてあげないよ」というリストです。あれは前原さんが自分の嫌いな人をリストアップしたということももちろんあります。私もそう思っていました。新しい党に入ってほしくない民進党メンバーのトップは菅直人<sup>かんなおと</sup>。あの人が入ってきたら嫌でしょう。「かん」だから「いかん」「あかん」(笑)。野田<sup>のだ</sup>佳彦<sup>よしひこ</sup>さんもそうです。こっちは「ノダヌキ」、あっちは「緑のタヌキ」。そのほかの民進党メンバーも合わせて30人ぐらいがリストに載って、希望の党に入れないことになりました。彼らはみんなそろって行こうと思っていた。希望の党に行くことを民進党が決めたわけですから。

整理すると、安倍さんが衆議院の解散を決意して、9月28日、大島理森<sup>おおしまただもり</sup>衆議院議長が解散を宣言しました。選挙に関して、臨時閣議で10月10日公示、10月22日投票と正式に決めて、その日に民進党は党本部で両院議員総会を開き、衆院選を機に、民進党は小池百合子都知事が率いる希望の党へ事実上、合流することを前原代表が提案しました。前原さんは、「どんな手段を使っても安倍政権をや

めさせなきゃいけない。そのために名を捨てて実をとる」と言って、提案への理解を求めました。

そのときに、希望の党へ入るための一番きつい条件として、憲法9条3項に自衛隊を明記することに賛成するか、しないか、踏み絵をしたらいいのです。この踏み絵をやったことが非常に重要です。よく考えてみると、この踏み絵は、安倍さんの意向に沿うような人でないと希望の党に入れないということです。ところが、小池さんは逆に「安倍さんを倒さなきゃいけない」と言っている。お互いに口裏を合わせて出来レースをやっているように見えるわけです。

**立憲民主党をつくらせたのは小沢一郎だった！**

そういうことで、希望の党に行けると思っていたら、突然「おまえたちは来な

くていいよ」と言われた人たちが出てきてしまいました。彼らは「どうしようか」ということになるわけですが、孫子の兵法の第十一「九地篇」に「死地」が  
ありますね。戦争で兵隊たちを懸命に戦わせようと思つたら、懸命に戦わなければ死んでしまうような死地に兵隊たちを突き落とせ。そうすれば、兵隊たちはここから何とかして助かりたいから必死になつて戦う、死地から逃れようとしてうまくいったら生き残れるというわけです。これは軍隊だけの話じゃなくて、子どもを教育するときもそうです。一生懸命勉強させようと思つたら、ライオンみたいに、子どもを大変なところに突き落として、そこからはい上がってきた子だけを大事に育てるのです。はい上がれなかった子はハゲタカに食われてしまう。

希望の党のデスノートで突き落とされた30人ぐらいの民進党メンバーは、新しい党名で新党を立ち上げました。それが立憲民主党です。明治、大正のころは立憲政友会などという政党がありました。「立憲」は古くさい、「緑の党」とか「希望の党」とかそういうしゃれたのがいいとみんな思っていますけれども、本当は、平和主義とか基本的人権とか民主主義とか、憲法の重要な項目を載せるべきです。一番手っ取り早いのは、自由・平等・博愛です。自由は自由民主党。平等は、

平等民主党でもいいんだけど、社会民主党。博愛は、鳩山由紀夫はとやまゆきおさんが好きな「友愛」を冠して友愛民主党でもいい。鳩山由紀夫さんが民主党を立ち上げましたけれども、民主党をつくらせた勢力は世界支配層です。日本をこれから世界のリーダーにすると言ってはちよつと語弊がありますが、世界を救うための中心的な存在にしようということでは民主党をつくらせたのです。

民主党のマークは、2つの赤い円が縦に重なって、真ん中の重なった部分が白抜きされていました。あれはプロビデンスの目といって、フリーメーソンとかユダヤ人とかが好きな目です。あの目は1ドル札や我々の持っている千円札にもついています。民主党をつくった鳩山由紀夫さんはハンガリー系のイルミナティの会員です。おじいちゃんの鳩山一郎さんのときからそうです。そのような理想があったのですが、みんなそれを知らないものだから、その後、追い出してしまつて、一緒に小沢さんまでやめさせました。「民進党」って何か言いにくいでしょう。岡田克也おかだかつやさんは民進党と言うべきところを一瞬、新進党と言ってしまうました。だから民進党じゃなくて民主党なんですよ。

こうしてデスノートによって、にわかに立憲民主党ができたわけですが、これ

を誰がつくらせたか。実を言うと、9月27日の小池さんとの会合で、重要な役職は用意していないと小池さんに冷たくあしらわれ、その場からすすごと帰ってきた小沢さんなのです。小沢さんは自分を追い出した枝野さんにすぐ連絡をとったのです。

愛知県選出の民進党国会議員だった鈴木克昌かつまささんという方がいます。鈴木さんは今回、体調の悪い奥さんの面倒を見なきゃいけないということで選挙への出馬をやめたのですが、民進党に来る前は小沢さんの生活の党の幹事長をしていましたから、その鈴木さんに連れられて小沢さんは去年（2016年）あたり枝野さんに会っているのです。そのときは、「民進党の政策に合わせてくれるのだったらいいですよ」ということで、話がうまく進まなかったけれども、今回また鈴木克昌さんを間に入れて、「新しい党をつくらせる。名前は立憲民主党だ」と言っ  
て枝野さんに連絡をとらせたのだと思います。

小沢さんは枝野さんに「おカネも組織も用意するから安心しろ」と言ったのです。小沢さん、おカネはたっぷりありますから。おおめに言って400兆円持っているという説もあるのですが、さすがにこれはちょっと多すぎる。その半分ぐ

らいだと思いますが、それぐらいおカネがありますし、政党をつくるのもお手のものですし、組織で言うところの連合も手がけています。

## 革マルのマイクロバス襲撃事件と中核派書記長の殺害事件／ 未解決事件の闇

さつきも言ったように、何しろ枝野さんは革マルです。先ほど埼玉県警の話をしましたけれども、私は昭和53年5月1日付で浦和支局から東京本社に上がりました。しかも、政治部でした。本社に行く直前、私の浦和支局での最後の事件が起きました。

当時、埼玉県の戸田とだに革マルの印刷工場がありました。ある夜、その工場から出てきたマイクロバスが中核派に襲撃されたのです。革マルのマイクロバスは、窓に全部網がかかっていました。中核派は窓のガラスを取っ払い、ハンマーでド